

# 令和7年岐阜県知事選挙 立候補者アンケート

## 和田 れいこ 氏 アンケートのご回答

### 1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々な市民活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、岐阜県のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい                      ・                      いいえ                      ・                      その他

政府や自治体より、市民のより近くで問題や課題に気づき、きめ細やかな支援活動ができる立場にいてくださると考え、その活動に期待しています。子育て支援、外国籍の方たちの支援、DV支援、障がい者支援、全世代的孤独・孤立対策支援、学習支援、子ども食堂支援、食糧支援、引きこもり支援、不登校支援、再就職支援、更生保護支援などその範囲は、多様です。また、社会の変化と共に課題は広がっていきっていくと思われます。今後も活発な活動を支援します。

### 2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

岐阜県では、「ぎふNPO・生涯学習プラザ」事業や市町村の財政支援制度をホームページで公開するなど、市民活動への支援施策が行われています。岐阜県では、NPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金やそれ以外にお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい                      ・                      いいえ                      ・                      その他

本来なら政府や自治体が責任を持つべき分野も NPO にその負担がかかっていることもあると思いますので、協力関係を維持しつつ、その都度、公的支援への切り替えや財政支援を検討していく必要があると考えますので、積極的な協働と話し合いの機会を進めます。24 時間支援など今まで行政が苦手としていた部分も、しっかり人員の配置をしていく必要があると考えます。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

「岐阜県 NPOと行政の協働を進めるための協働事業推進ガイドライン」では、NPOを協働のパートナーとし、協働の意義と必要性がまとめられています。またNPOとの協働事業も行われてきました。今後も岐阜県とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合はより良い協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

岐阜県担当課と NPO が、対等な関係の中で定期的に、随時に、意見交換できる環境を構築し、県として参考にさせていただけるような前向きな意見交換を続けていきたいと考えます。今後もぎふ NPO センターには、重要な役割を果たしていただけると期待しております。

ご協力ありがとうございました。